

令和3年

# 救急救助統計



高松市消防局

## 目 次

### 救 急 編

1 救急概要	.....	2
2 救急出場件数及び搬送人員	.....	3
3 事故種別出場件数及び搬送人員の状況	.....	4
4 年齢区分別搬送人員の状況	.....	5
5 事故種別月別及び曜日別出場件数の状況	.....	6
6 覚知時刻別出場件数	.....	7
7 医療機関別搬送人員	.....	7
8 傷病程度別搬送人員の状況	.....	8
9 現場到着所要時間別出場件数の状況	.....	9
10 収容所要時間別搬送人員の状況	.....	9
11 署所別救急活動の状況	.....	10
12 救急隊員の行った応急処置件数	.....	11
13 救急艇出場の状況	.....	12
14 受託町救急活動の状況	.....	13
15 応急手当普及啓発活動の状況	.....	13

### 救 助 編

1 救助概要	.....	15
2 救助出場件数及び救助人員等	.....	16
3 事故種別救助活動の状況	.....	16
4 署所別救助活動の状況	.....	17
5 月別救助活動の状況	.....	18
6 曜日別救助出場件数	.....	19
7 時間別救助出場件数	.....	19
8 発生場所別救助出場件数	.....	20
9 発生場所別救助人員	.....	20

# 救 急 編

# 1 救急概要

令和3年中の出場件数は、22,162件で搬送人員は、20,260人となっており、前年と比較すると出場件数が804件の増加、搬送人員は937人の増加となった。

これは、1日平均61件、23分43秒に1件の割合で救急車が出場したことになり、1年間で住民21.1人に1人の割合で救急車を利用したことになる。

救急業務は、住民の安心・安全を確保する上で不可欠な行政として浸透しているが、中には緊急性のないものもあり、重傷者への対応の遅れが懸念され、救急車の適正利用について今以上に取組まなければならない。

現在、急速に進展している高齢化社会への対応、そして疾病構造の複雑な変化等により救急業務の内容は高度かつ専門化の一途をたどり、より一層の救急医療体制の充実、整備を図る必要がある。

[令和3年中]

◎ 出場件数	22,162件
◎ 搬送人員	20,260人
○ 1日あたりの平均出場件数	61件
○ 救急車出場頻度	23分43秒
○ 1台あたりの平均出場件数	1,583件
○ 出場件数の多い月	12月 2084件
○ 出場件数の少ない月	2月 1640件
○ 出場件数の多い曜日	月曜日 3,436件
○ 出場件数の少ない曜日	日曜日 2,911件
○ 出場件数の多い時間帯	9時～10時 1,558件
○ 出場件数の少ない時間帯	4時～5時 336件
○ 救急車利用率	住民21.1人に1人
○ 平均現場到着所要時間	10分1秒
○ 平均収容所要時間	37分43秒

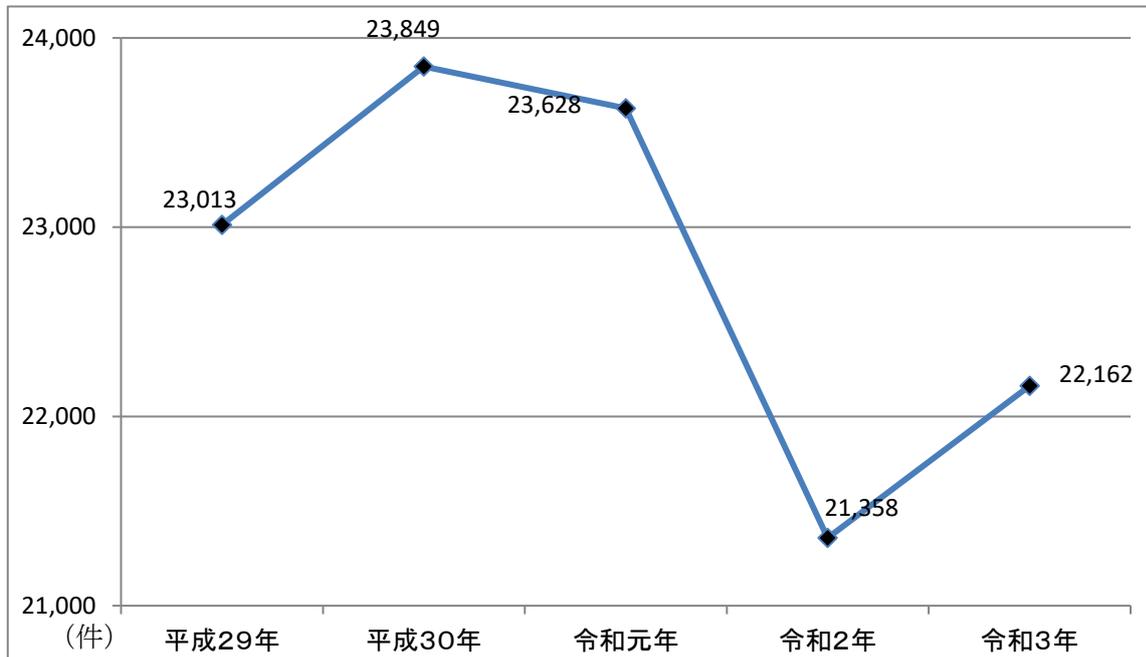
※参考(令和2年)

全国出場件数	5,933,277件
香川県出場件数	43,561件

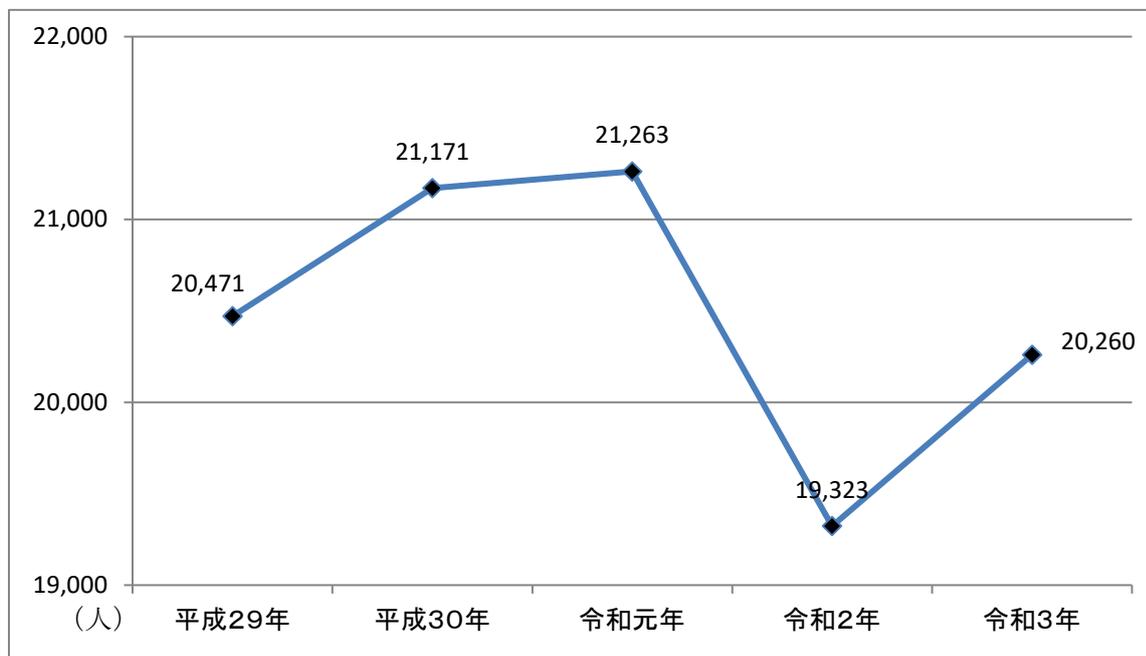
## 2 救急出場件数及び搬送人員

令和3年中の救急活動状況は出場件数が22,162件、搬送人員が20,260人であった。  
過去5年間の推移は第1図、第2図のとおりである。

第1図 出場件数の推移



第2図 搬送人員の推移



### 3 事故種別出場件数及び搬送人員の状況

救急車による出場件数及び搬送人員を事故種別ごとにみると、出場件数は、第1位が急病(13,519件、61.0%)、第2位が一般負傷(3,515件、15.9%)、第3位が転院搬送(2,856件、12.9%)の順となっている。(第3表参照)

搬送人員は、第1位が急病(12,222人、60.3%)、第2位が一般負傷(3,238人、16.0%)、第3位がその他(2,857人、14.1%)の順となっている。(第4表参照)

第3表 事故種別出場件数

事故種別	令和2年		令和3年		対前年比		
	出場件数	構成比(%)	出場件数	構成比(%)	増減数(件)	増減率(%)	
火災	126	0.6	108	0.5	▲18	▲14.3	
自然災害	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
水難	14	0.1	6	0.0	▲8	▲57.1	
交通事故	1,723	8.1	1,620	7.3	▲103	▲6.0	
労働災害	124	0.6	140	0.6	16	12.9	
運動競技	135	0.6	110	0.5	▲25	▲18.5	
一般負傷	3,354	15.7	3,515	15.9	161	4.8	
加害	63	0.3	52	0.2	▲11	▲17.5	
自損行為	169	0.8	152	0.7	▲17	▲10.1	
急病	12,810	60.0	13,519	61.0	709	5.5	
その他	転院搬送	2,740	12.8	2,856	12.9	116	4.2
	医師搬送	7	0.0	3	0.0	▲4	▲57.1
	資器材搬送	5	0.0	13	0.1	8	160.0
	その他	88	0.4	68	0.3	▲20	▲22.7
合計	21,358	100.0	22,162	100.0	804	3.8	

※ ▲印は減少

第4表 事故種別搬送人員

事故種別	令和2年		令和3年		対前年比	
	搬送人員	構成比(%)	搬送人員	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)
火災	23	0.1	19	0.1	▲4	▲17.4
自然災害	0	0.0	0	0.0	0	0.0
水難	5	0.0	5	0.0	0	0.0
交通事故	1,586	8.2	1,497	7.4	▲89	▲5.6
労働災害	128	0.7	158	0.8	30	23.4
運動競技	139	0.7	110	0.5	▲29	▲20.9
一般負傷	3,079	15.9	3,238	16.0	159	5.2
加害	54	0.3	41	0.2	▲13	▲24.1
自損行為	107	0.6	113	0.6	6	5.6
急病	11,448	59.2	12,222	60.3	774	6.8
その他	2,754	14.3	2,857	14.1	103	3.7
合計	19,323	100.0	20,260	100.0	937	4.8

※ ▲印は減少

## 4 年齢区分別搬送人員の状況

事故種別ごとの年齢区分別搬送人員の状況は、急病は高齢者(7,862人、64.3%)、交通事故は成人(839人、56.0%)、一般負傷は高齢者(2,394人、73.9%)が高い割合で搬送されている。

(第5表、第6図参照)

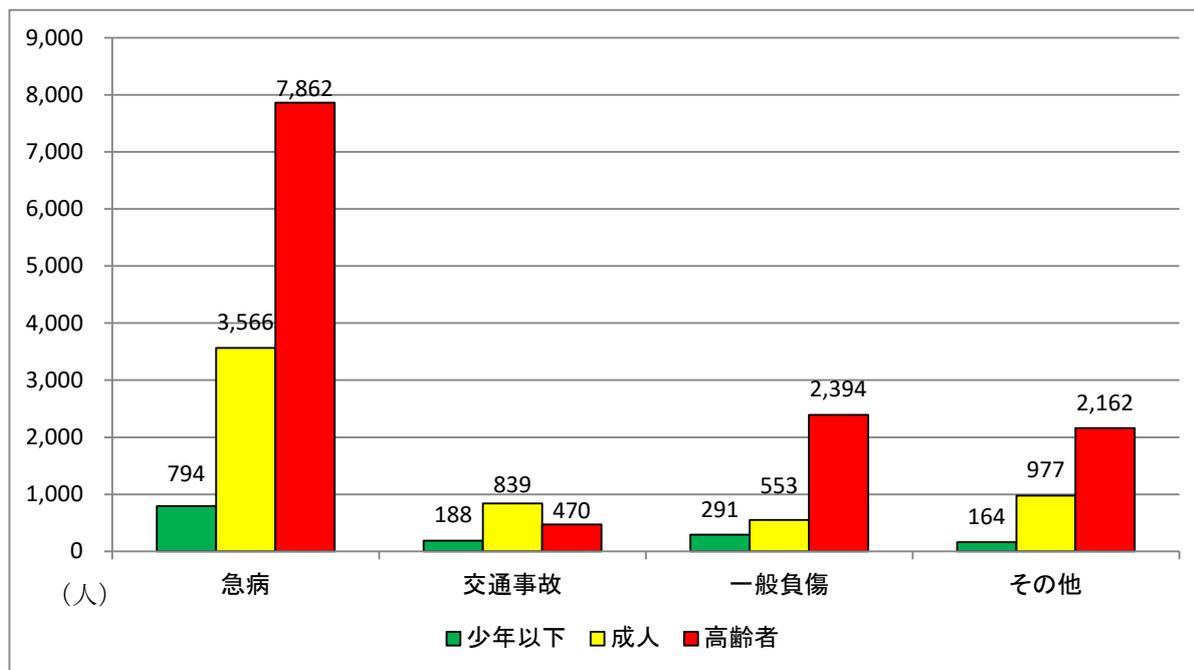
第5表 年齢区分別搬送人員状況

区分 年齢区分	急病		交通事故		一般負傷		その他 (左記以外)		合計	
	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)
新生児	4	0.0	0	0.0	0	0.0	26	0.8	30	0.1
乳幼児	494	4.0	31	2.1	196	6.1	48	1.5	769	3.8
少年	296	2.4	157	10.5	95	2.9	90	2.7	638	3.1
成人	3,566	29.2	839	56.0	553	17.1	977	29.6	5,935	29.3
高齢者	7,862	64.3	470	31.4	2,394	73.9	2,162	65.5	12,888	63.6
合計	12,222	100.0	1,497	100.0	3,238	100.0	3,303	100.0	20,260	100.0

※年齢区分は次による

- (1) 新生児 生後28日未満の者
- (2) 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
- (3) 少年 満7歳以上満18歳未満の者
- (4) 成人 満18歳以上満65歳未満の者
- (5) 高齢者 満65歳以上の者

第6図 年齢区分別搬送人員状況



## 5 事故種別月別及び曜日別出場件数の状況

事故種別ごとに月別の救急出場件数をみると、急病は7月、8月、交通事故は8月、一般負傷は12月が多くなっている。(第7表参照)

第7表 事故種別月別出場件数状況

区分 月	急病		交通事故		一般負傷		その他 (左記以外)		うち転院搬送		合計	
	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)
1月	1,161	8.6	116	7.2	285	8.1	292	8.3	246	8.6	1,854	8.4
2月	973	7.2	133	8.2	232	6.6	302	8.6	240	8.4	1,640	7.4
3月	1,065	7.9	141	8.7	295	8.4	313	8.9	257	9.0	1,814	8.2
4月	993	7.3	138	8.5	276	7.9	274	7.8	214	7.5	1,681	7.6
5月	1,085	8.0	127	7.8	281	8.0	275	7.8	219	7.7	1,768	8.0
6月	1,081	8.0	121	7.5	265	7.5	276	7.9	225	7.9	1,743	7.9
7月	1,296	9.6	144	8.9	294	8.4	320	9.1	254	8.9	2,054	9.3
8月	1,296	9.6	172	10.6	292	8.3	266	7.6	206	7.2	2,026	9.1
9月	1,001	7.4	103	6.4	263	7.5	276	7.9	235	8.2	1,643	7.4
10月	1,162	8.6	134	8.3	347	9.9	263	7.5	211	7.4	1,906	8.6
11月	1,137	8.4	146	9.0	323	9.2	343	9.8	287	10.0	1,949	8.8
12月	1,269	9.4	145	9.0	362	10.3	308	8.8	262	9.2	2,084	9.4
合計	13,519	100.0	1,620	100.0	3,515	100.0	3,508	100.0	2,856	100.0	22,162	100.0

事故種別ごとに曜日別の救急出動件数をみると、急病は月曜日、交通事故は金曜日、一般負傷は月曜日が多くなっている。(第8表参照)

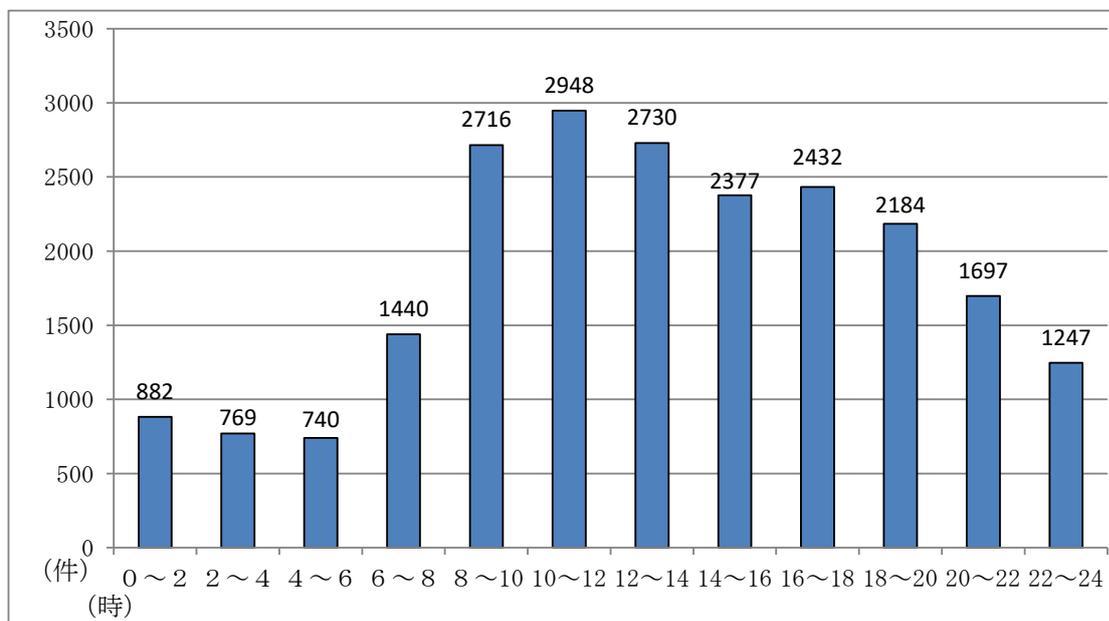
第8表 事故種別曜日別出場件数状況

区分 曜日	急病		交通事故		一般負傷		その他 (左記以外)		うち転院搬送		合計	
	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)
月曜	2,038	15.1	235	14.5	547	15.6	616	17.6	510	17.9	3,436	15.5
火曜	1,840	13.6	253	15.6	449	12.8	569	16.2	487	17.1	3,111	14.0
水曜	1,850	13.7	263	16.2	468	13.3	564	16.1	490	17.2	3,145	14.2
木曜	1,891	14.0	239	14.8	479	13.6	487	13.9	396	13.9	3,096	14.0
金曜	2,008	14.9	266	16.4	505	14.4	641	18.3	551	19.3	3,420	15.4
土曜	1,900	14.1	199	12.3	544	15.5	400	11.4	303	10.6	3,043	13.7
日曜	1,992	14.7	165	10.2	523	14.9	231	6.6	119	4.2	2,911	13.1
合計	13,519	100.0	1,620	100.0	3,515	100.0	3,508	100.0	2,856	100.0	22,162	100.0

## 6 覚知時刻別出場件数

出場状況を時間別にみると、午前6時頃から上昇を示し、午前8時から時間経過とともに増加し正午までにはピークに達し、18時から深夜にかけて徐々に減少し早朝4時から6時頃までが最低となっている。(第9図参照)

第9図 覚知時刻別出場件数



## 7 医療機関別搬送人員

令和3年中における救急車による搬送人員20,260人について、医療機関等への搬送人員の状況を示している。(第10表参照)

第10表 医療機関別搬送人員

		告示	うち管外	非告示	うち管外	合計(人)	うち管外
医療機関	国立	1,175	95	0	0	1,175	95
	公立	5,794	161	121	2	5,915	163
	公的	6,500	7	0	0	6,500	7
	私的病院	5,712	352	297	32	6,009	384
	私的診療所	234	0	423	9	657	9
その他の場所		0	0	4	0	4	0
合計(人)		19,415	615	845	43	20,260	658

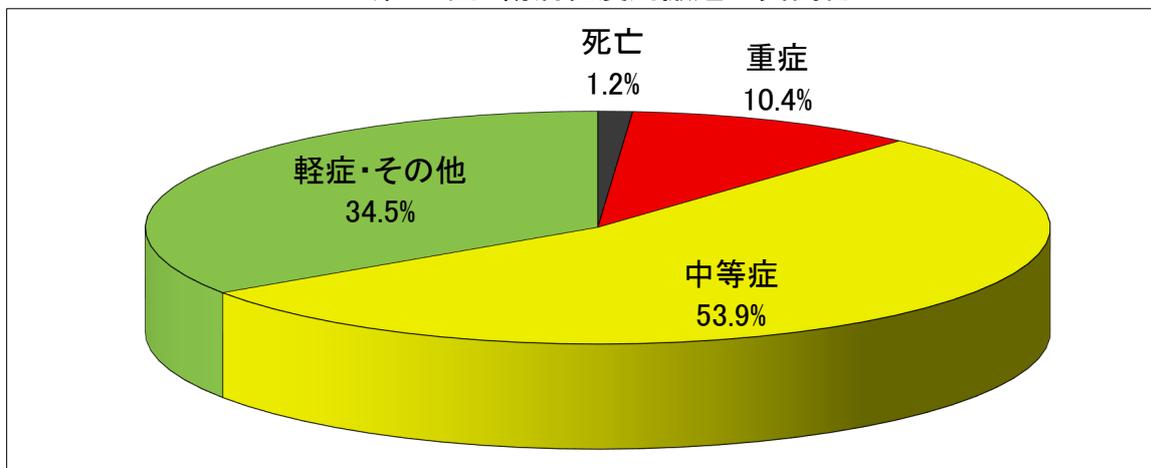
※ 医療機関の分類は次による

- (1) 「国立」とは開設者が国であるもの。
- (2) 「公立」とは開設者が都道府県、市町村及び地方自治体の組合であるもの。
- (3) 「公的」とは開設者が普通国民健康組合、日本赤十字社、社会福祉法人恩賜財団済生会、厚生医療農業共同組合連合会であるもの。

## 8 傷病程度別搬送人員の状況

医療機関に搬送した傷病者20,260人を傷病程度別にみると、死亡が249人(1.2%)、重症が2,107人(10.4%)、中等症が10,917人(53.9%)、軽症及びその他が6,987人(34.5%)となっている(第11図参照)

第11図 傷病程度別搬送人員割合



※傷病程度は、初診時における医師の診断に基づき、次のように分類した。

- (1) 死亡とは、初診時において死亡が確認されたものをいう。
- (2) 重症とは、傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするものをいう。
- (3) 中等症とは、傷病程度が重症以下及び軽症以上のものをいう。
- (4) 軽症は傷病程度が入院加療を必要としないものをいう。
- (5) その他とは、医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないものをいう。

傷病程度を年齢区分別にみると、高齢者は中等症割合が高く、若年層ほど軽症割合が高くなっている。(第12表参照)

第12表 年齢区分別傷病程度状況

	少年以下		成人		高齢者		合計	
	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)
重症・死亡	29	2.0	456	7.7	1,871	14.5	2,356	11.6
中等症	492	34.2	2,624	44.2	7,801	60.5	10,917	53.9
軽症・その他	916	63.7	2,855	48.1	3,216	25.0	6,987	34.5
合計	1,437	100	5,935	100	12,888	100	20,260	100.0

## 9 現場到着所要時間別出場件数の状況

令和3年中の救急自動車による救急出場件数22,162件について、現場到着所要時間別（救急事故の覚知から現場に到着するまでに要した時間）の救急出場の状況を示した。これによると最も多いのが5分以上10分未満の11,765件で全体の53.1%である。（第13表参照）

第13表 現場到着所要時間別出動件数の状況

項目	現場到着所要時間						合計	平均
	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上			
出場件数	145	525	11,765	9,463	264	22,162	10分01秒	
構成比(%)	0.7	2.4	53.1	42.7	1.2	100.0		

## 10 収容所要時間別搬送人員の状況

令和3年中の救急自動車による搬送人員20,260人について、収容所要時間別（救急事故の覚知から医療機関に収容するまでに要した時間）の搬送人員の状況を示した。これによると最も多いのが30分以上60分未満の13,434人で全体の66.3%である。（第14表参照）

第14表 収容所要時間別搬送人員の状況

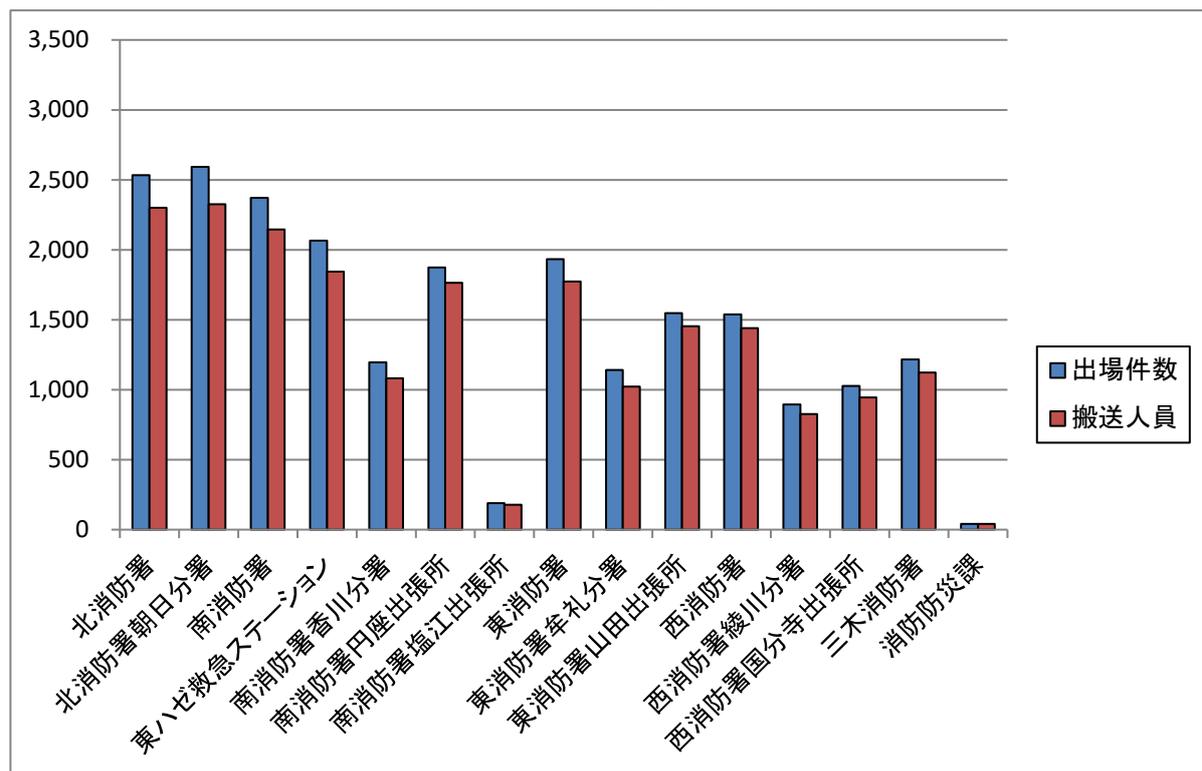
要 間	収容所 時					合計	平均
	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上		
搬送人数	4	477	5,119	13,434	1,226	20,260	37分43秒
構成比(%)	0.0	2.4	25.3	66.3	6.1	100.0	

## 11 署所別救急活動の状況

第15表 署所別救急活動の状況

救急車配置署所	出場件数	搬送人員
北消防署	2,533	2,300
北消防署朝日分署	2,592	2,325
南消防署	2,372	2,146
東ハゼ救急ステーション	2,066	1,843
南消防署香川分署	1,196	1,081
南消防署円座出張所	1,874	1,765
南消防署塩江出張所	189	177
東消防署	1,934	1,774
東消防署牟礼分署	1,140	1,022
東消防署山田出張所	1,547	1,454
西消防署	1,538	1,439
西消防署綾川分署	895	825
西消防署国分寺出張所	1,027	944
三木消防署	1,217	1,123
消防防災課	42	42
合計	22,162	20,260

第16図 署所別救急活動の状況



## 12 救急隊員の行った応急処置件数

現場到着から医師に引き継ぐまでの間に症状の悪化防止や苦痛軽減のために、救急隊員が傷病者に対して行った応急処置の件数は第17表のとおりである。

第17表 救急隊員の行った応急処置件数

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他 (左記以外)	合計	
応急処置等対象搬送人員	12,212	1,495	3,230	3,279	20,216	
応急処置等項目	止 血	35	58	220	35	348
	固 定	123	591	587	191	1,492
	人 工 呼 吸	28	2	4	8	42
	胸 骨 圧 迫 ※ 1	1	0	0	0	1
	心 肺 蘇 生 ※ 2	345	9	31	39	424
	酸 素 吸 入	2,864	125	188	902	4,079
	気 道 確 保	492	13	40	64	609
	うち経鼻エアウェイ	23	0	1	1	25
	うち喉頭鏡、鉗子等	5	0	5	0	10
	うちラリングアルマスク等	10	3	0	5	18
	うち気管挿管	41	0	10	1	52
	血 圧 測 定	11,569	1,455	3,079	3,108	19,211
	心音・呼吸音の聴取	3,725	317	568	623	5,233
	血中酸素飽和度測定	11,820	1,470	3,153	3,204	19,647
	心 電 図	7,839	411	969	1,449	10,668
	保 温	1,675	142	393	475	2,685
	被 覆	43	235	592	106	976
	在 宅 療 法 継 続	150	0	7	42	199
	シ ョ ッ ク パ ン ツ	0	0	0	0	0
	除 細 動	34	1	0	2	37
	静 脈 路 確 保	134	4	23	22	183
うちCPA前	60	3	6	7	76	
うちCPA後	74	1	17	15	107	
薬 剤 投 与	47	2	9	7	65	
血 糖 測 定	252	1	4	4	261	
ブ ド ウ 糖 投 与	34	0	0	0	34	
そ の 他 の 処 置	7,440	945	2,013	1,969	12,367	
合 計	48,650	5,781	11,880	12,250	78,561	

※1、※2自動心臓マッサージ器を含む

(備考)

- (1)1人につき複数の応急処置等を行うこともあるため、応急処置等対象搬送人員と事故種別ごとの応急処置等の項目の合計は一致しない。
- (2)除細動とは、心臓が痙攣したように細かく震え血液を拍出できなくなる致死的不整脈に電気ショックを与えその震えを取り除く処置の事をいう。
- (3)静脈路確保とは、静脈内に輸液路を確保する処置である。静脈路を確保することで、薬剤などを必要時直ちに静脈内へ投与することが可能になる。
- (4)薬剤投与とは、静脈内にアドレナリンを投与することをいう。

### 13 救急艇出場の状況

救急艇出場の状況は、第18-(1)表及び第18-(2)のとおりである。

第18-(1)表 高松市島しょ部の状況

区分 出場場所	令和2年		令和3年			
	出場件数	搬送人員	出場件数	対前年 増減数(件)	搬送人員	対前年 増減数(人)
女 木 町	17	15	12	▲ 5	12	▲ 3
男 木 町	22	20	17	▲ 5	17	▲ 3
庵 治 町 大 島	0	0	1	1	1	1
そ の 他	1	1	0	▲ 1	0	▲ 1
合 計	40	36	30	▲ 10	30	▲ 6

※ ▲印は減少

第18-(2)表 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏域の状況

区分 要請町名	令和2年		令和3年			
	出場件数	搬送人員	出場件数	対前年 増減数(件)	搬送人員	対前年 増減数(人)
土 庄 町	36	35	44	8	44	9
小 豆 島 町	0	0	1	1	1	1
直 島 町	0	0	0	0	0	0
合 計	36	35	45	9	45	10

※ ▲印は減少

## 14 受託町救急活動の状況

第19表 受託救急活動概要

事故種別	出 場 件 数					搬 送 人 員					
	全件数	2町指数 (%)	2町計	綾川町	三木町	全件数	2町指数 (%)	2町計	綾川町	三木町	
火 災	108	26.9	29	21	8	19	5.3	1	1	0	
自然災害	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	
水 難	6	0.0	0	0	0	5	0.0	0	0	0	
交通事故	1,620	8.0	129	62	67	1,497	8.3	124	61	63	
労働災害	140	15.0	21	14	7	158	12.7	20	13	7	
運動競技	110	7.3	8	4	4	110	7.3	8	4	4	
一般負傷	3,515	9.7	340	160	180	3,238	9.8	318	151	167	
加害事故	52	3.8	2	1	1	41	2.4	1	1	0	
自損事故	152	10.5	16	6	10	113	8.8	10	4	6	
急 病	13,519	9.7	1,308	589	719	12,222	9.9	1,209	542	667	
そ の 他	転院搬送	2,856	14.1	402	172	230	2,857	14.1	402	172	230
	医師搬送	3	100.0	3	0	3	0	0.0	0	0	0
	資器材搬送	13	100.0	13	0	13	0	0.0	0	0	0
	その他	68	4.4	3	1	2	0	0.0	0	0	0
合 計	22,162	10.3	2,274	1,030	1,244	20,260	10.4	2,093	949	1,144	

## 15 応急手当普及啓発活動の状況

第20表 応急手当普及啓発活動の状況

区分 年	普 通 救 命 講 習		上 級 救 命 講 習	
	実 施 回 数	受 講 者 数	実 施 回 数	受 講 者 数
平成29年	143	3,044	2	55
平成30年	140	3,246	1	39
令和元年	118	2,864	1	50
令和2年	55	1,007	2	40
令和3年	48	529	2	27

# 救 助 編

# 1 救助概要

## (1) 救助隊の定義

昭和61年4月の消防法改正により救助隊が法的に位置付けされ、さらにこれを受けて同年10月に救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令(昭和61年10月1日自治省令第22号)が公布(昭和62年1月1日施行)されたことに伴い、同省令に基づき市町村が配置する人命の救助を行うため必要な特別の救助器具を装備した消防隊を救助隊として取り扱っている。

また、救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令の一部を改正する省令(平成18年総務省令第42号)が平成18年3月28日に公布され、これに伴い、救助活動に関する基準の一部を改正する件(平成18年消防庁告示第3号)が同じく平成18年3月28日に公布され、それぞれ平成18年4月1日から施行されることとなったため、中核市である高松市は平成20年3月3日に高度救助隊を発隊させている。

## (2) 救助隊の設置状況

- 1 救助隊数5隊: 専任2隊(北消防署高度救助隊1隊、南消防署特別救助隊1隊)  
兼任3隊(東消防署1隊、西消防署1隊、三木消防署1隊)

\*「専任隊」とは、災害時において専ら救助工作車で出場し、救助活動を行う隊。  
\*「兼任隊」とは、災害の様態により、救助活動のほか消火活動を兼ねる隊。

- 2 救助隊員数82人 (専任34人、兼任48人)

\*「専任隊員」とは、専任救助隊のうち辞令または職務命令により、専ら救助活動を行う救助隊員。  
\*「兼任隊員」とは、救助隊員のうち、専任救助隊員以外の救助隊員。

- 3 救助工作車Ⅲ型2台 (省令第5条高度救助隊及び省令第4条特別救助隊)

- 4 消防ポンプ自動車3台 (省令第3条救助隊)

## 2 救助出場件数及び救助人員等

令和3年中における救助出場件数は139件(前年比4.8%減)、救助活動件数121件(前年比7.1%増)、救助人員113人(前年比10.8%増)となっている。

第1表 救助活動の状況

区分 年	救助出場件数		救助活動件数		救助人員	
	件数	対前年増減率(%)	件数	対前年増減率(%)	人員	対前年増減率(%)
平成27年	173	—	133	—	138	—
平成28年	175	1.2	121	▲ 9.0	121	▲ 12.3
平成29年	199	13.7	154	27.3	155	28.1
平成30年	188	▲ 5.5	149	▲ 3.2	135	▲ 12.9
令和元年	152	▲ 19.1	127	▲ 14.8	111	▲ 17.8
令和2年	146	▲ 3.9	113	▲ 11.0	102	▲ 8.1
令和3年	139	▲ 4.8	121	7.1	113	10.8

▲印は減少

※参考(令和2年中)

全国の救助出動件数	93,989件
全国の救助活動件数	59,977件
全国の救助人員	57,952人
香川県の救助出動件数	397件
香川県の救助活動件数	263件
香川県の救助人員	272人

## 3 事故種別救助活動の状況

救助活動の状況を事故種別ごとに見ると出場件数で最も多いのは、交通事故の60件で全体の43.2%を占めている。次いで建物等による事故の32件の順になっている。また、活動件数でも交通事故が最も多く47件で全体の38.8%を占め、次に建物等による事故32件となっている。救助人員については、交通事故によるものが最も多く46人で全体の40.7%を占めている。

## 4 署所別救助活動の状況

第2表 署所別救助活動状況

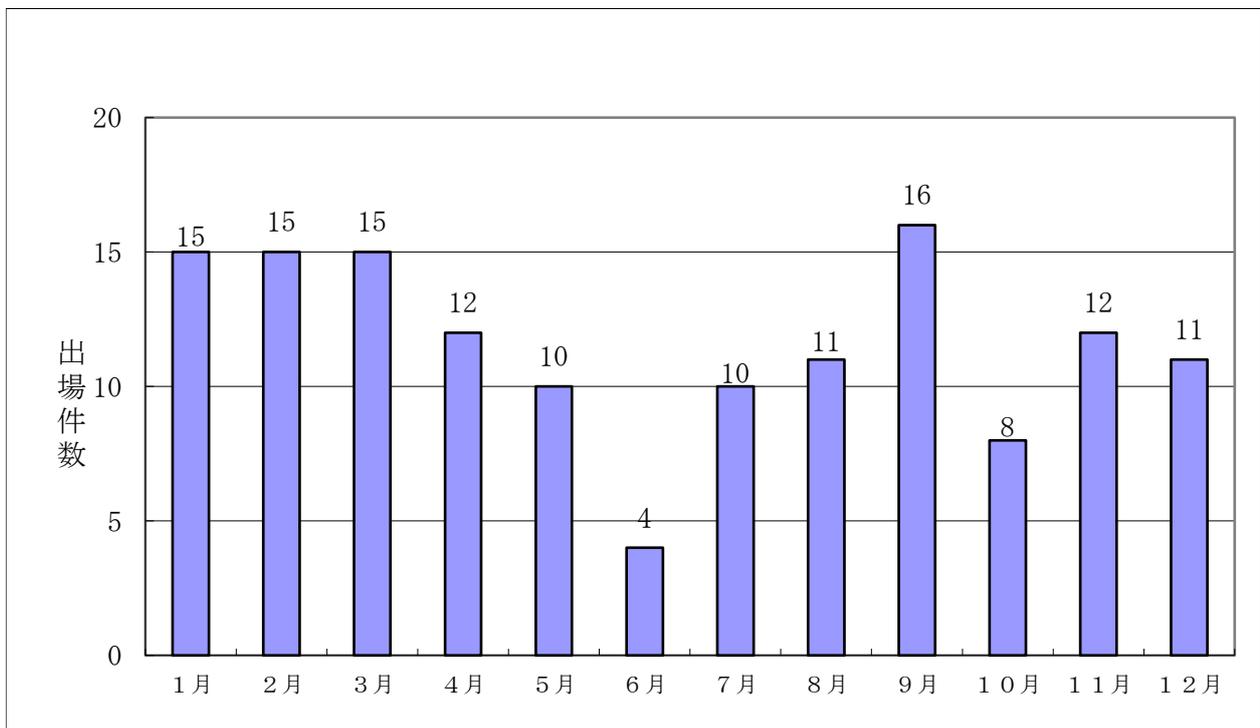
事故種別 区分		火災	交通事故	水難事故	自然災害等 水害等	機械による 事故	建物等によ る事故	ガス及び酸 欠事故	破裂事故	その他	合計
		出場 件数	合計	6	60	8	0	12	32	0	0
北署	1		7	1	0	1	11	0	0	3	24
南署	4		19	1	0	3	11	0	0	6	44
東署	1		22	1	0	2	7	0	0	3	36
西署	0		11	5	0	5	2	0	0	7	30
三木署	0		1	0	0	1	1	0	0	2	5
出場 人員	合計	414	1218	236	0	257	245	0	0	254	2624
	北署	73	150	26	0	7	93	0	0	53	402
	南署	229	370	27	0	59	94	0	0	58	837
	東署	112	442	38	0	49	45	0	0	43	729
	西署	0	231	145	0	115	9	0	0	86	586
	三木署	0	25	0	0	27	4	0	0	14	70
活動 件数	合計	6	47	7	0	10	32	0	0	19	121
	北署	1	4	0	0	1	11	0	0	2	19
	南署	4	14	1	0	3	11	0	0	6	39
	東署	1	19	1	0	1	7	0	0	3	32
	西署	0	9	5	0	4	2	0	0	6	26
	三木署	0	1	0	0	1	1	0	0	2	5
活動 人員	合計	193	551	138	0	122	224	0	0	174	1402
	北署	36	66	0	0	7	93	0	0	17	219
	南署	110	152	4	0	45	76	0	0	52	439
	東署	47	231	7	0	26	42	0	0	42	395
	西署	0	91	127	0	34	9	0	0	53	314
	三木署	0	11	0	0	10	4	0	0	10	35
救助 人員	合計	4	46	7	0	10	27	0	0	19	113
	北署	0	4	0	0	1	9	0	0	2	16
	南署	4	14	1	0	3	9	0	0	6	37
	東署	0	18	1	0	1	6	0	0	3	29
	西署	0	9	5	0	4	2	0	0	6	26
	三木署	0	1	0	0	1	1	0	0	2	5

## 5 月別救助活動の状況

第3表 月別救助活動状況

区分 月	出場 件数	出場 人員	救助 人員	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 等	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他
1月	15	212	12	0	5	1	0	1	5	0	0	2
2月	15	255	11	0	7	0	0	2	4	0	0	0
3月	15	204	12	0	4	0	0	1	7	0	0	2
4月	12	257	7	1	4	0	0	0	2	0	0	1
5月	10	282	7	2	0	2	0	2	0	0	0	2
6月	4	86	3	0	1	1	0	1	0	0	0	0
7月	10	152	9	0	3	0	0	1	4	0	0	1
8月	11	221	8	0	4	0	0	0	0	0	0	4
9月	16	305	15	1	5	2	0	2	2	0	0	3
10月	8	172	7	1	2	0	0	0	2	0	0	1
11月	12	257	11	1	5	0	0	0	3	0	0	3
12月	11	221	11	0	7	1	0	0	3	0	0	0
合 計	139	2624	113	6	47	7	0	10	32	0	0	19

第4図 月別救助活動の状況



## 6 曜日別救助出場件数

曜日別救助出場件数については、月曜日の27件を最高に、次いで水曜日の25件となっている。

第5表 曜日別救助出場件数

事故種別 曜日	火災	交通事故	水難事故	自然災害 水害等	機械による 事故	建物等によ る事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他	合計（件）
日曜日	0	4	1	0	2	3	0	0	2	12
月曜日	2	7	2	0	3	5	0	0	8	27
火曜日	1	9	3	0	1	1	0	0	1	16
水曜日	0	15	0	0	2	6	0	0	2	25
木曜日	1	4	1	0	2	3	0	0	4	15
金曜日	0	11	0	0	1	9	0	0	2	23
土曜日	2	10	1	0	1	5	0	0	2	21
合計(件)	6	60	8	0	12	32	0	0	21	139

## 7 時間別救助出場件数

第6表 時間別救助出場件数

事故種別 時	火災	交通事故	水難事故	自然災害 水害等	機械による 事故	建物等によ る事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他	合計（件）
0～2	0	4	0	0	1	1	0	0	0	6
2～4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
4～6	1	1	0	0	1	1	0	0	1	5
6～8	0	7	0	0	0	2	0	0	1	10
8～10	1	6	0	0	2	5	0	0	3	17
10～12	0	10	2	0	0	3	0	0	2	17
12～14	0	10	0	0	2	7	0	0	7	26
14～16	1	6	2	0	2	1	0	0	2	14
16～18	0	3	0	0	2	8	0	0	3	16
18～20	3	4	2	0	1	3	0	0	1	14
20～22	0	4	1	0	0	1	0	0	1	7
22～24	0	4	1	0	1	0	0	0	0	6
合計(件)	6	60	8	0	12	32	0	0	21	139

## 8 発生場所別救助出場件数

発生場所別救助出場については、屋外98件(70.5%)、屋内40件(28.8%)となっている。

第7表 発生場所別救助出場件数

事故種別 発生場所		火災		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等 害	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ ス 及 び 腐 蝕 事 故	破 裂 事 故	そ の 他	合 計 ( 件 )
		建 物	建 以 外										
屋 内	住 居	6						1	26			1	34
	その他の屋内							5	1				6
屋 外	道 路	高速道路 国 道		3									3
		その他の道路		43								2	45
	水 面	内水面		2	4								6
		外水面			4								4
	山 岳											2	2
	その他の屋外			12				6	5			15	38
地 下													
そ の 他												1	1
合 計 ( 件 )		6	0	60	8	0	12	32	0	0	0	21	139

## 9 発生場所別救助人員

発生場所別救助人員については、屋外81人(71.7%)、屋内31人(27.4%)であり、交通事故が46人、建物等による事故が27人の順となっている。

第8表 発生場所別救助人員

事故種別 発生場所		火災		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等 害	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ ス 及 び 腐 蝕 事 故	破 裂 事 故	そ の 他	合 計 ( 人 )
		物 建	建 以 外										
屋 内	住 居	4						1	21			1	27
	その他の屋内							3	1				4
屋 外	道 路	高速道路 国 道		2									2
		その他の道路		30								2	32
	水 面	内水面		2	4								6
		外水面			3								3
	山 岳											2	2
	その他の屋外			12				6	5			13	36
地 下													0
そ の 他												1	1
合 計 ( 人 )		4	0	46	7	0	10	27	0	0	0	19	113

# 救急救助統計

令和3年版

編集 高松市消防局消防防災課救急救助係  
〒 760-8571  
高松市番町一丁目8番15号  
TEL 087-861-1550  
FAX 087-861-2504